

令和7年度第2回幸区地域福祉計画推進会議 会議録

会議の概要

開催日時	令和8年3月13日（金）午前10時から午前10時45分まで	
開催場所	幸区役所3階 診察室	
出席者の氏名	委員 (出席)	関川浩司（幸区医師会） 加藤満治（幸区社会福祉協議会）
	委員 (欠席)	大塚謙一郎（幸区地域教育会議） 石井雅之（幸区民生委員児童委員協議会）
	オブザーバー	高橋正（日吉商店街連合会） 滝澤富士子（幸区町内会連合会）
	事務局	三浦ひろみ（川崎市育成会手をむすぶ親の会幸支部） 松本健一（川崎市幸区身体障害者協会）
		大竹薫（幸区社会福祉協議会事務局長）
		荒木（地域みまもり支援センター所長） 小田（地域ケア推進課企画調整係長） 上久保（地域みまもり支援センター副所長） 神保（地域ケア推進課企画調整係職員） 村山（地域ケア推進課長）
議事 (公開)	1 議題 (1) 第8期川崎市・各区地域福祉計画策定・推進の方向性（案）について (2) 地域資源と地域課題のマッチングに向けた調査について (3) その他	
傍聴人の数	0名	
配付資料	資料1 第8期川崎市・各区地域福祉計画策定・推進の方向性（案） 資料2 地域資源と地域課題のマッチングに向けた調査について	

議事要旨

発言者	発言要旨
事務局	<p>開会</p> <p>議事録作成のための録音、記録としての写真撮影について了承、資料の確認及び出席者の確認。</p>
議題（１）第８期川崎市・各区地域福祉計画策定・推進の方向性（案）について	
事務局	<p>【資料１に基づき説明】</p> <p>令和８年度から始まる第８期の川崎市及び区の地域福祉計画の策定に向けて、その趣旨・概要や、計画策定の経過と期間について説明。また、これまで市計画と区計画を別々に作成していたが、市計画の後ろに区計画を掲載し、一つの冊子にまとめて作成することとなることを説明。さらに、具体的な令和８年度の計画策定に向けた推進会議のスケジュール案を示した。今後、市の骨子や、より詳細なスケジュールが示されたら、改めて情報共有しながら議論を進めさせていただきたい。</p> <p>事前に頂戴した、幸区社会福祉協議会大竹オブザーバーからのご意見「次期計画についても社協との連携を希望する」については、従前通り連携を図りながら丁寧に計画策定を進めていく旨説明。</p>
大竹オブザーバー	<p>社会福祉協議会で作成する地域福祉活動計画は区の推進計画に基づいて作成しているので、計画の内容が変わってくるようであれば、情報提供してもらえると、それに合わせて両輪としてうまく回るようにしたいと思う。</p>
事務局	<p>情報共有を図りながら進めていきたい。事前に大塚委員から子どもの貧困や居場所について御意見を頂いているが、改めてご説明いただきたい。</p>
大塚委員	<p>幸区地域教育会議としては、未就学児から１８歳未満子どもに関する意見や情報を求められてこの場にいると思っている。現在、不登校を含めて貧困の状況も問題視されている。特に小中高校の子どもに関しては計画に盛り込んでもらいたいと思っているが、全市的な並びになって、幸区の独自制がどれ程担保されるのか。</p>
事務局	<p>市全体の計画はありつつ、各区独自の取り組みや個々の特徴のある取り組みを実施しているので、そういった取り組みは取り上げていきたいと考えている。</p>
大塚委員	<p>いこいの家で中学生の学習支援を行っていたと思う。そういうものも全市横並びになってどうなるのかと思っていたが、独自制は保たれるということなら、これからも期待している。</p>
事務局	<p>子ども文化センターの窓口は区にないのかなど課題を抱えている。また、こども未来局青少年支援室が所管するが、子どもの居場所関係については今後議論を進める方向性になっている。今後も整合性を図り、大塚委員からもそういった貴重なご意見をいただきながら、本庁の方にフィードバックしていきながら、引き続きよろしくお願ひしたい。</p>
議題（２）地域資源と地域課題のマッチングに向けた調査について【資料２】	
事務局	<p>【資料２に基づき説明】</p> <p>地域ケア推進課の新たな取り組みとして行った、地域資源と地域課題のマッチングに</p>

	<p>向けた調査について、取り組み内容やアンケート調査の背景と概要を説明。また、アンケートの質問項目の内容や区内3箇所で実施した結果の内訳、今後の調査の方向性について示した。</p>
大塚委員	<p>幸市民館が令和8年9月以降改修工事に入るため、令和10年5月くらいまで貸出しができない。幸区地域教育会議としては現在拠点として活動しているため、その代替場所として教育委員会に相談している。他にも幸市民館で活動しているサークルはたくさんあり、マッチングできる情報があつたらいいと思っている。</p> <p>みゆきいこいの家が貸出しているとのことで、登録しようと検討中。他のサークルは昼間に活動することもあり、昼間に活動できるところも少しあつたらいいのかなと思う。もう少し具体的なマッチング例を出して、示していただけると希望・価値が出てくると思うのでそういう風にしていただけるといいと考える。</p>
事務局	<p>我々もなかなかその情報にたどりついていないというところもあるので、アンテナを高く進めていきたい。</p>
大竹オブザーバー	<p>アンケートの回答で、専門職を出して、介護予防や骨粗しょう症予防の講演のようなものができるといのであれば、老人いこいの家や老人福祉センターに結び付けていただければと思う。場所と集客は社会福祉協議会で行う。今現在もいろいろな講座を実施しているが、ぜひそういうようなマッチングをしていただければと思う。</p>
関川委員	<p>今のお話で、幸区社会福祉協議会でお部屋が60部屋くらいあって結構空いているという話を聞いていた気がするが、コマ的に空き時間はあるものなのか。</p>
大竹オブザーバー	<p>空きがあっても、使用目的に制限があるためすべてに答えられる状況でない。大塚委員のいう会議であれば問題ないと思う。</p>
関川委員	<p>区役所職員が行うアンケートの回収率このくらいものか。医学の世界では統計学が大事。20%という数字が信用されるものなのか、地域を反映しているものかどうか。結果をととても細かく解析されているが、地域の方々の意識が低いのかとも思うが、実際はどうか。</p>
事務局	<p>今回は店舗で営業されているような地域資源を持っていそうな、地域貢献を考えそうなところを中心にアンケートを実施した。断られることはなかったが、印象としてはなんとか受け取っていただけたというところ。性質上強制することはできないもの。</p>
関川委員	<p>大竹オブザーバーがおっしゃった講演会は年間で予定されているものか。</p>
大竹オブザーバー	<p>年間を通じているものもあるが、それ以外に突発的なものも行っている。幸区社会福祉協議会でチラシを作って、講師の方の時間に合わせて実施している。</p>
関川委員	<p>財団としても健康に関することをユーチューブ公開するなど、様々な形で発信しようとしている。財団だけでなく所属する第二川崎幸クリニックのスタッフにも啓蒙ということが大事だと伝えていて、オファーがあつた時には30分くらいの講義を色々な分野で行うことが可能。企業と色々なことをつなぐ区役所のこの取組は、地域包括になるだろうなと思っている。やはり求めている情報がなく、社会福祉協議会の活動の話も今初めて聞いた。なにかありましたら、ぜひ。</p>

加藤委員	<p>日吉第三地区で老人クラブが高齢化して、活動の継続が困難になってきている。老人クラブの活動には参加したいが、上に立って役員まではやりたくないという声が多く、2、3年前に小倉上町会は老人クラブが無くなった。小倉地区の老人クラブは、もう市老連から外れようという動きが。今現在実施している誕生会とか公園の掃除とか、おしゃべり会だとかは続けていくが、引っ張って行く人がいなくなってきていることが問題。高齢化社会だから老人クラブに意欲を持って参加できる社会にしてかなければならないと考えるが、なぜか反比例しているような現象が起こっている。今からお年寄りたちが、活動しやすいとか意欲を持って参加しやすいとかそういう体制づくりや風土づくりをやっていないといけない。普段、地域で実際に活動しているからこそ強く感じている。こういったことも社会福祉計画を考えていく上では、考えておかなければならないのではないかと思う。</p>
事務局	<p>いわゆる団体の負担軽減は本当にやっていかないと新たな担い手が少なくなっていることや厳しい状況であるということは、老人会に限らず我々も感じているところ。区だけでどこまでできるかというところはあるが、適切に、反映させていきたいという風に思っている。</p>
議題（3）その他について	
事務局	特になし。
事務局	<p>以上で全ての議題が終了した。 次年度については改めて日程調整させていただきます。本日はありがとうございました。</p>

以上